

2026年6月15日

「矢倉孝一 メモリアル基金」

障害者の芸術活動支援を行う NPO 等
に対する助成プログラム
応募要領

募集期間：2026年6月15日～7月30日

公益財団法人パブリックリソース財団

1 助成プログラムの趣旨

このたびの助成プログラムは、障害者の芸術活動への支援を志向する「矢倉孝一 メモリアル基金」が実施するものです。

障害者による芸術活動が日本において注目をされ始めたのは、今から 30 年ほど前のことです。日本各地において、障害者個人の表現活動を支援する団体が生まれ、創作の場の設定、社会に開かれた展示の場の設定、さらには芸術作品をもとにしたプロダクツの制作などを通じての障害者のなりわいとしての展開など、さまざまな活動が広がってきました。

この間、文化庁による「障害者等による文化芸術活動推進事業」も整備され、障害者が芸術を創造することができる環境整備や、障害のある方たちが制作した作品を鑑賞する機会の拡充もなされてきました。

この 30 年間に、どこまで障害者の芸術活動は充実してきたのか、その支援活動の現状はどのような状況にあり、当面している課題は何なのか、あるいは将来に向けてなすべき活動は何なのか、翻って、障害者の芸術活動を取り巻く「社会」の有り様はどうなっているのか…など、改めて、障害者の芸術活動を支援することが本助成プログラムの目的です。

【矢倉孝一 メモリアル基金の概要】

矢倉健次さんは重度の知的障害のお兄様と、そのお兄様を献身的に支えるご両親の元で育たれました。お父様の矢倉孝一さんは 2022 年 1 月 31 日に 90 歳で逝去されるまで常にお兄様の生活を案じられてきました。お兄様自身も折り鶴の制作や編み物などの創作活動をされてきました。

矢倉さんはそのお父様の遺志を受け継ぎ、知的障害の方が生まれてから老いるまでのどのタイミングでも、肩身の狭い思いをすることなく、世の中でより良く共生し、幸せに人生を全うできる世界を願っています。ご自身が取材を続ける中で、そのような社会の実現するうえで、芸術活動は障害があっても個性を生かし、人格を認められる生き方として注目されました。

今回は「矢倉孝一 メモリアル基金」として、各地で障害者の芸術活動への支援を行っている実践活動を支援することとされました。

2 助成プログラムの支援対象となる事業

障害者の人生をより豊かにし、障害者の存在を認め、社会とつながりを深めていく芸術活動の振興を図る活動を行っている NPO 等の実践活動等への支援（資金支援）を行います。

今回の助成対象は、次のいずれかに該当する事業活動です。なお、選考にあたっては新規性のある試みや野心的なプロジェクトを重視します。

- より多くの知的障害者がアートに取り組むもしくはアクセスできる仕組みづくり
- 障害者の芸術活動・作品の価値を高め、社会や世界とつなげる方策

3 助成内容

(1) 助成対象となる団体

NPO 法人（特定非営利活動法人）、非営利型一般社団法人、社会福祉法人、公益法人などの非営利法人で、障害者の芸術活動への支援を行っている団体。

※ 任意団体は対象となりません。

(2) 助成金

① 1 団体あたりの助成金

100 万円

② 支援期間

1 年間【助成決定（概ね 2026 年 9 月）から 1 年間：2027 年 8 月まで】

③ 助成対象団体

2 団体

④ 助成金の使途

事業活動及びその準備にかかる調査にあたっての事業・活動に必要な交通費や謝礼金、会議室借料、映像機器等借用料、印刷費、消耗品購入などの事業費、事業・活動遂行にあたってかかるその他の経費で使途は特に限定しません。対象事業・活動に必要な人件費や備品購入費にも充たいただけます。

ただし、申請金額の算定根拠があいまいである場合や過大である場合には、金額査定の結果、助成対象とならない場合があります。

4 応募要件（次の要件を全て満たす団体が応募できます）

- ① 団体の所在地が日本国内であり、日本国内を活動の拠点としていること
- ② 申請事業が日本国内の活動であること
- ③ NPO 法人（特定非営利活動法人）、非営利型一般社団法人、非営利型一般財団法人、社会福祉法人、公益法人などの非営利法人であること
※任意団体は対象となりません
※一般社団法人、一般財団法人の場合、非営利型であることを証する定款を提出いただきます
- ④ 3 年以上の法人としての通常事業実績がある（3 会計年度を経過している）こと（つまり、法人としての事業活動開始が 2023（令和 5 年）年 3 月以前であること）
- ⑤ 反社会的勢力（暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった時から 5 年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業・団体、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロ、特殊知能暴力集団等その他これらに準ずる者をいう）に該当せず、反社会的勢力を利用せず、反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有しておらず、かつ、将来にわたっても該当しないこと
- ⑥ ネットワークビジネス、マルチ商法、宗教、保険、同業者による勧誘等を目的としていないこと
- ⑦ 特定の政治団体・宗教団体に該当しないこと
※ 活動の目的や趣旨が政治・宗教・思想・営利などの目的に偏る団体も対象外となります。
- ⑧ 過去 3 年間の間に、団体の役員が禁固以上の判決を受けていないこと
- ⑨ 助成対象となった場合、団体名や活動内容を公表されることを了承すること
- ⑩ 助成開始後に、寄付者への礼状やインタビューや写真・動画の提供をお願いした際に、これに協力すること
- ⑪ 助成開始後に、本基金関係者が活動現場の訪問をお願いした際に、これに協力すること
- ⑫ 助成期間終了後指定する期限内に、助成金の活用状況や活動の状況について報告書（事業報告書及

び会計報告書を含む) や写真または動画等を提出すること

5 選考方法

(1) 審査方法

専門家による公平・中立な審査委員会を設置し、書面による審査を行います。

必要に応じて事務局による電話、メール等によるヒアリングを行う場合や追加資料のご提出をお願いすることがあります。

(2) 選考結果の通知

審査の結果(採択・不採択)の通知は、メールにて通知します。

また、採択された団体名や活動内容は、パブリックリソース財団等のWEBサイトで公表します。

なお、採否の理由などに関するお問い合わせには一切応じかねます。

(3) 選考基準

○団体の信頼性

- 適切な組織運営がなされているか
- 適切な情報公開が行われているか
- 応募要件を満たしていること

○これまでの事業における実績

- 助成申請額に相応しい事業規模や活動実績があるか
- 利他の心をもって良心的で地道な活動実績が認められること

○目的の合致性(内容の適格性、独自性、先駆性等)

- 助成プログラムの目的と合致した事業であるか
- 支援分野において新規性のある試みや野心的なプロジェクトであるか

○計画の妥当性・実現可能性

- 支援対象のニーズや社会課題の原因等をよく把握、分析しているか
- 事業計画は社会的効果を生むように適切に計画されているか
- 助成金の使途や支出計画が適切であるか
- 事業の実施体制は十分か、関係団体などとの連携やネットワークを有しているか

○社会への貢献

- 社会課題の解決にむけて取り組む必要性や優先度が高いか
- 受益者などのウェルビーイングを増進させる可能性が高いか

6 応募手続き

(1) 応募期間

2026年6月15日(月)～7月30日(木)17時まで

※ お問い合わせは、7月29日（水）12時まで受け付けします

（2）応募方法

1. 「矢倉孝一 メモリアル基金」ウェブサイト(パブリックリソース財団ウェブサイト内)より、「助成プログラム申請受付窓口」にアクセス
2. 会員登録・応募団体登録を完了
3. 応募フォームにアクセスし申請内容を入力してください
(添付書類は、応募フォームよりアップロードしてください)
※ 「助成プログラム申請窓口」及び「応募フォーム」の使い方は、それぞれのサイトをご確認ください
※ すでに弊財団の「助成プログラム申請受付窓口」会員登録・応募団体登録がお済みの場合は、ログイン後に応募フォームにお進みください。

◆サイト URL : <https://www.public.or.jp/project/f0181>

※ 郵送やメール添付での応募は受付対象外となります。必ず上記の応募フォームからご応募ください。

（3）提出書類

助成対象団体の確認及び審査情報として以下の情報を提出してください。

(注)「写し」とは、PDF もしくは画像データです。

<PDF もしくは画像データの作り方>

※ コンビニなどのコピー機でも制作・保存できます(USB メモリーをご自身でご用意していただく必要があります)。

※ スマホのスキャンアプリ、または写真アプリを使って作成したものでも問題ありません。但し、いずれの場合も記載内容が判別できる鮮明なものに限ります。

- ① 代表者の本人の顔写真入りの公的身分証明書の写し (PDF または画像データ)
公的身分証明書とは、以下の書類となります。顔写真入りの公的身分証明書はいずれか1点で結構です。
 - (1) 運転免許証 (必ず両面) (返納している場合は、運転経歴証明書で代替可能)
 - (2) マイナンバーカード (オモテ面のみ)
 - (3) 写真付きの住民基本台帳カード (オモテ面のみ)
 - (4) 在留カード、特別永住者証明書、外国人登録証明書 (在留の資格が特別永住者のものに限る) (必ず両面)※ 顔写真入りの公的身分証明書がない場合には、住民票、健康保険証など写真のない公的書類や身分証明書2点の写しでも可
※ パスポートの場合は、写真付きの面の写しに加えて、住民票、健康保険証など写真のない公的書類や身分証明書1点の写しでも可
※ いずれの場合も申請を行う月において有効なものに限ります。

- ② 決算関係書類
 - (1) 直前の事業年度（原則 2025 年度）の 決算書の写し（PDF または画像データ）
 - (2) 直前の事業年度（原則 2025 年度）の 事業報告書の写し（PDF または画像データ）
- ③ 助成対象事業収支内訳テンプレート（指定した様式）

（４）応募に関する問い合わせ先

応募に関してのお問い合わせは、「矢倉孝一 メモリアル基金」の特設ウェブサイト内のお問い合わせフォームからお問い合わせください。

※ 個人情報の取り扱いについてはパブリックリソース財団の個人情報保護方針

（<https://www.info.public.or.jp/privacy-policy>）をご覧ください。

※ お問い合わせは、2026 年 7 月 29 日（水）12 時まで受け付けします。

7 手続き等

- ① 1 団体につき 1 申請とします。同一団体から異なるプロジェクトで複数の申請があった場合は、申請取下げいただくか、または不受理とします。
- ② 助成決定後、助成決定通知書を発行しますので、助成金受入同意書をご提出ください。
- ③ 助成決定後、応募者とパブリックリソース財団は「覚書」を取り交わし、所定の手続きを経て助成をします。
- ④ 助成金は、上記の助成手続き完了後に振り込みます。
- ⑤ 助成対象となった場合、団体名や活動内容をパブリックリソース財団の Web サイト等にて公開します。
- ⑥ 助成開始後、当基金事務局より活動現場への視察やヒアリング、活動状況についてのインタビューや写真・動画の提供をお願いすることがあります。ご協力ください。
- ⑦ 助成対象事業終了後に「活動終了報告書」（実施報告書及び会計報告書を含む）を、1 カ月以内にご提出ください。

8 スケジュール

2026 年 6 月 15 日(月) ～ 7 月 30 日(木)17 時迄	公募期間
2026 年 7 月 31 日(金) ～ 9 月上旬	審査期間
2026 年 9 月上旬	審査結果通知（助成対象期間スタート）
2026 年 9 月中旬	助成金振込